

農業用ダムにおける小水力発電技術研修会の開催

北陸農政局柏崎周辺農業水利事業所 調査設計課

平成26年4月17日(木)に柏崎周辺農業水利事業所において、農業用ダムにおける小水力発電技術研修会を開催し、新潟県、柏崎市、刈羽村、柏崎土地改良区などから30名が参加しました。柏崎周辺地区では、平成25年度から、地区内の農業水利施設における小水力発電導入の可能性について検討を進めています。本研修会は、可能性調査の結果や、解決すべき課題、今後の進め方について、他地区の先進事例を紹介しながら、関係機関と一緒に知識・技術を高めることとしました。

第一講は、柏崎周辺農業水利事業所の渡邊所長より、「柏崎周辺地区における小水力発電の検討状況」と題して、本地区における可能性調査や発電計画の考え方や、小水力発電を巡る社会情勢などについて説明がありました。可能性調査の結果として、地区内では栃ヶ原ダム、市野新田ダム、善根頭首工の3つの施設において、小水力発電導入の可能性が高いことが試算され、今後、発電に係る収支計算や維持管理性について、さらなる検討を進める必要があるとのことでした。

第二講は、「先進事例における小水力発電の計画、設計、諸協議等の知識・技術」と題して、他地区で小水力発電に係る実施設計を担当したコンサルタントに講師を務めてもらい、小水力発電の計画の策定手法や、設計技術、維持管理方法、収支計画等について、実際の経験を交えて、説明してもらいました。本地区の検討状況と照らし合わせることで、工事までに必要となる実作業について、関係機関と共有することができました。

講義後の総合討議では、将来の小水力発電施設の更新作業に係る費用の積み立ての必要性や、現実に適合した維持管理費用の試算方法について、質問がありました。ま



30名の参加者が集まりました



検討箇所のうち善根頭首工(分水工付近)

た、冬期に多くの積雪があるため、発電施設に近づけないなどの課題が指摘され、今後の検討事項となりました。

柏崎周辺農業水利事業所では、昨年度は研修会を4回実施し、関係機関から多くの出席をいただいています。本年度も、農政の方向や、関係機関と共有すべき制度や技術について、研修を重ねながら、地区全体で課題解決に取り組んでいきたいと考えています。